

自動車点検整備推進運動



コストも、いのちも、 地球環境も。

クルマのメンテナンスを 心づめて

安全と環境保全には、**点検・整備**が必要です



「自動車点検整備推進運動」に関する情報や各種チラシのデザイン等はこちら

※各地域の取組については、最寄りの運輸局にお問い合わせください

<https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha/tenkenseibi/tenken/t3/t3-1/>



▶ 自動車の点検・整備のことが詳しくわかります
www.tenken-seibi.com



▶ クルマの愛情点検チェックガイド
www.tenken-seibi.com/m/



■推進：国土交通省 自動車点検整備推進協議会 ■後援：内閣府 警察庁 環境省 ■協力：独立行政法人自動車技術総合機構 軽自動車検査協会 独立行政法人自動車事故対策機構
一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会 一般社団法人 全国自家用自動車協会 全国石油商業組合連合会 一般社団法人 日本自動車部品工業会 日本自動車車体整備協同組合連合会
一般社団法人 日本自動車工業会 公益社団法人 日本バス協会 一般財団法人 自動車検査登録情報協会 全日本自動車部品商協同組合 一般社団法人 日本自動車車体工業会
一般社団法人 日本自動車販売協会連合会 公益社団法人 全国トラック協会 公益財団法人 日本自動車教育振興財団 全国自動車電装品整備商工組合連合会 全国タイヤ商工協同組合連合会
一般社団法人 全国軽自動車協会連合会 一般社団法人 全国ハイヤー・タクシー連合会 一般社団法人 日本損害保険協会 一般社団法人 自動車用品小売業協会 全国自動車部品販売店連合会
一般社団法人 日本中古自動車販売協会連合会 一般社団法人 全国レンタカー協会 一般社団法人 電池工業会 一般社団法人 日本自動車部品協会
日本自動車輸入組合 一般社団法人 日本自動車タイヤ協会 全国共済農業協同組合連合会 一般社団法人 電池工業会 一般社団法人 日本自動車部品協会
一般社団法人 日本自動車連盟（順不同） 全国労働者共済生活協同組合連合会 全国ディーゼルポンプ振興会連合会 全国オートバイ協同組合連合会

安全確保と環境保全是 15項目 チェック

クルマの点検・整備から。

点検・整備で
燃費改善！
CO₂排出量削減！
にもつながる！

日常点検・定期点検は車のトラブルを防ぎ、CO₂の排出量削減にもつながります。
車の健康管理を心がけましょう。

日常点検

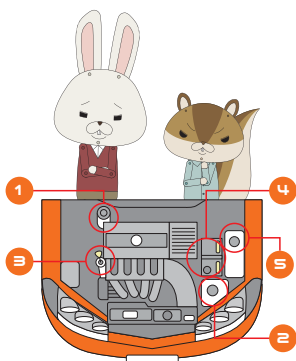
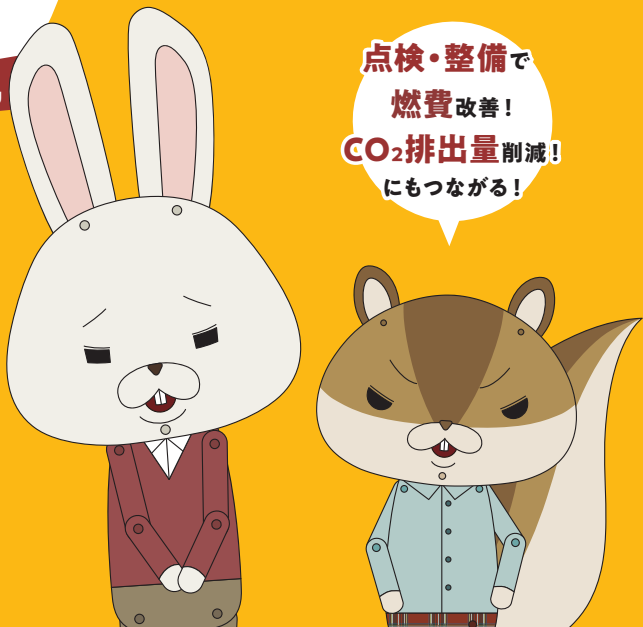
日常点検整備は、日頃自動車を使用していく中で、ユーザーの皆さんが自分自身で行うことのできる点検です。普段から、以下のチェックシートを片手に点検を行いましょ。

定期点検

定期点検整備は、日常点検より細かい点検項目について、一定期間(自家用乗用車は1年)ごとに実施する、少し大がかりな点検整備です。日常点検と同様にユーザーの方の義務となっていますが、専門的な知識・技術も必要なので、国の認証を受けた整備工場に任せることもできます。

車検はあくまで最低限の基準を満たしているか確認するもので、次の車検までの安全性等を保証するものではありません。確実に日常点検や定期点検を実施し、車の保守管理を行いましょ。

専用HPは
こちら



エンジンルーム 5項目

1 ブレーキ液の量

リザーバ・タンク内の液量が規定の範囲(上限ラインと下限ラインとの間)にあるかを点検します。

判定○or×

2 冷却水の量

リザーバ・タンク内の液量が規定の範囲(上限ラインと下限ラインとの間)にあるかを点検します。

3 エンジン・オイルの量

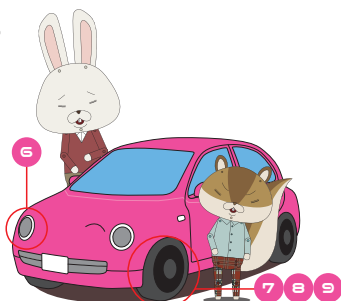
エンジンに付いているオイル・レベルゲージを抜き取り、付着しているオイルを拭き取ってからゲージをいっぱいに差し込み、再度抜き取った際にオイルの量がオイル・レベルゲージにより示された範囲内にあるかを点検します。

4 バッテリー液の量

バッテリー液の量が規定の範囲(上限ラインと下限ラインとの間)にあるかを、車両を揺らすなどして点検します。

5 ウインド・ウォッシュ液の量

ウインド・ウォッシュ液の量が適当かを点検します。



クルマの周り 4項目

6 ランプ類の点灯・点滅

エンジン・スイッチを入れ、ランプ類の点灯・点滅具合が不良でないか、レンズなどに汚れや損傷がないかを点検します。

7 タイヤの亀裂や損傷の有無

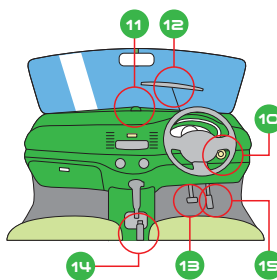
タイヤの亀裂や損傷の有無、タイヤに異物が付着したりかみ込んだりしていないかを入念に点検します。

8 タイヤの空気圧

タイヤの接地部のたわみ具合を確認して、タイヤの空気圧が規定の範囲内であるかを点検します。

9 タイヤの溝の深さ

タイヤの溝の深さが十分であることを、接地面のスリップ・サインを目印に点検します。スリップ・サインは、タイヤ側面の三角マークのある位置の接地面に現れます。



運転席 6項目

10 エンジンのかかり具合・異音

エンジンが速やかに始動しスムーズに回転するか、またエンジン始動時やアイドリング状態で、異音がないかを点検します。

11 ウインド・ウォッシュ液の噴射状態

ウインド・ウォッシュ液を噴射させ、ワイパーの作動範囲に噴射されるかを点検します。

12 ワイパーの拭き取り状態

ワイパーを作動させ、低速および高速の各作動が不良でないか、ウインド・ウォッシュ液がきれいに拭き取れるかを点検します。

13 ブレーキの踏み残りしりと効き具合

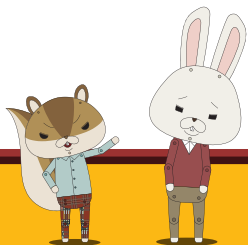
ブレーキ・ペダルをいっぱい踏み込んだとき、床板とのすき間(踏み残りしろ)や踏みごたえが適当であるかを点検します。

14 駐車ブレーキの引きしろ(踏みしろ)

駐車ブレーキをいっぱい引いた(踏んだ)とき、引きしろ(踏みしろ)が多すぎたり、少なすぎたりしないかを点検します。

15 エンジンの低速・加速状態

エンジンを暖機させた状態でアイドリング時の回転がスムーズに続くか、また、エンジンを徐々に加速したとき、アクセル・ペダルに引っかかりがないか、スムーズに回転するかを走行するなどして点検します。



自動車の点検整備はユーザーの義務です

©紙兎ロボプロジェクト2022 / フジテレビジョン
「紙兎ロボ」公式サイト kamisagi.jp